

地域自治会

立ち止まり、振り返り、見直す

地域自治会長 下平 勝照



自治会の区役員等の声掛けにより未だ入居・転入者に理解をいれず、きり虎の巻でもあり、組合加入したくない理由に、入金のある役員を少なく、少子高齢化による人口減少の社会現象下、「二人は生きていけない」を合言葉に、向こう三軒両隣(近所)近助(近所)の「共歩地域づくり」を目指し、各戸に配布されている「竜丘地区基本構想」の一説を、

「自治会役員選出基準を見直し、自治会長選出は正副会長から選出するに改め、今期は初経験のため会長候補滑りになったが、以降は副会長経験者が任じることが定着し、区長役との兼務から解放され、継続的な活動と負担軽減が担保されたと感じる。このことが各委員会・各区等に波及することが望ましい。

一つ、組合加入の促進について、強制できない条件の中、各

二年間を振り返り

コロナ禍にもめげず、地域振興活動を振り返る

地域振興委員長 下井田 実

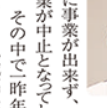


令和元年から二年度にかけて年度ごとの取組にも取り組まれました。また、商工会の経済活動を応援するために、特定作業活動に参加者に配布し、地産地消の一役を買いました。なお、コロナ禍に遭遇した二年度は、計画事業がことごとく縮小、中止を余儀なくされ、事業予算活用として地区内の家庭に地域応援商品券の配布に取り組みました。

このように住みよい竜丘地区を目指して頑張ってきた地区に、コロナ禍の一日も早い収束を祈念しながら、ご理解とご協力に御礼申し上げます。

今期の活動・来期へのつなぎ

福祉健康委員長 南 相哲



今年度は、ことを目標に取り組みを開始しました。課題検討会から約一年、令和二年七月に竜丘地区福祉有償移送サービス事業を再開することができました。七月当初は、利用登録者は十一人、運転登録者六名でしたが、十一月には第二回福祉課検討会を開催し、利用登録者が増え、回数も増えてきました。今後はもっと多くの高齢者、障害者をお持ちの方を知り、ご利用頂くことが課題だと感じました。

又、福祉健康委員会として皆様喜んでいただき、気軽に参加できる事業となるよう来期(今年度)にまいります。

話し合いから生まれた回帰力

公民館長 伊東 正直



年号は平成から令和へ、そしてコロナ禍もすっかり考慮して公民館委員、地域の皆様と丸と丸と取り組む事が出来ました。地域の皆様方には開催出来た事に対して喜んで頂いてきました。

区内交通安全会は、竜丘地区内「交通死亡事故ゼロ」の実績を継続して、また、特に、竜丘地域自治会と連携し、国道一五〇号線沿いの歩道を安心して歩行できるようにガードレールの設置や交差点にボールの増設を要望しました。今では、小中学生が、安心して登下校できる区間が延長されました。このような安全施設が実現した声、住民の声を反映させて実現しました。今後、皆様方の交通法規の

抱きしめたい平凡な生活

安全委員長 中田 博

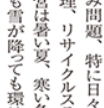


「令和二年」の活動を振り返る。コロナ禍の中でも事業を止めることなく竜丘地区の皆様と共に安全で安心して生活し続けられるよう努めてきました。

区内交通安全会は、竜丘地区内「交通死亡事故ゼロ」の実績を継続して、また、特に、竜丘地域自治会と連携し、国道一五〇号線沿いの歩道を安心して歩行できるようにガードレールの設置や交差点にボールの増設を要望しました。今では、小中学生が、安心して登下校できる区間が延長されました。このような安全施設が実現した声、住民の声を反映させて実現しました。今後、皆様方の交通法規の

活動の振り返りと来期へ

環境委員長 久保田 勉



コロナ禍による活動が制限される中、私達の間でも、環境委員会の活動が、特に、防犯意識の啓発活動を積極的に取り組んでまいりました。特に、コロナ禍での悪質な特殊詐欺の実態を学習会に参加して学び合い、竜丘地区の住民が被害に遭わないよう啓発活動を推進してまいりました。また、防火対策では、竜丘消防団の非常招集訓練に協力すると共に、枯れ草の除草を呼びかけるなど、住民の防火意識を高めてまいりました。

コロナ禍では、例年の安全委員会の活動ができませんと痛感しました。いつもの笑顔も、いつもの顔ぶれで囲む竜丘。いま抱きしめたい平凡な生活、二年間、ごさいいただき、ありがとうございます。

年男・年女です

今年年男・年女の皆さんに伺いました。



山田 安美さん(時又)
年男として昭和十二年農家に生まれ、昭和三十三年三月下伊那農業高等学校卒業。農業のかたわら国鉄に就職。二十三年間勤務し、昭和六十三年に退職。この間も考え始めたりといった人生の節目に学校勤務員として小学校に勤務、六十八歳で退職し第三の人生となりました。

趣味として絵画製作、早起き野球参加、詩吟教室月三回の出席など。

公民館民俗資料保存委員として「丘の語部たち」の発刊、竜丘児童自由画保存等の活動は、今も続けています。

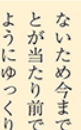
人生何事も、「やればできる」と言うこととです。



田中 清幸さん(長野原)
選暦を迎えるにあたり、六十歳という年齢は、若い頃からの生活習慣を見直したり、仕事も定年を迎え老後のことまで考え始めたりといった人生の節目に当たりました。

選暦とは、六十歳の誕生日で暦が一巡するまで長生きしたということに祝うようになったとされています。

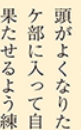
六十生かされたことに感謝し、自分にとってこの時、この時間が楽しく幸せだと思えるようなことを大切にしたい。この先も健康で充実した人生を送れるようになればと思います。



岡村 明さん(桐林)
年男として友人から今年の抱負を聞かれ、「そういえば抱負は何かな?」と気づかされました。

コロナ禍でどこにも行けない、行事もないため今までの前に行ってきたことが当たり前にない世の中ですが、牛のやうにゆくりと、でも確実な歩みで大きな成果に向けて努力を重ねる年になりました。

年齢を重ね、地域や社会から必要な人材になれるよう、みなさんも元気を出してこの難局を乗り越えたいです。



宮島 直さん(長野原)
今年から中学生。今年、私ががんばりたいことは、勉強と部活です。勉強では、数学と国語を特にがんばってテストで良い点を取りたいです。いっぱい勉強して頭がよくなりました。部活では、バスケット部に入りたいです。仲間と力を合わせて練習したいです。仲間と力を合わせて練習したいです。仲間と力を合わせて練習したいです。

FC・ESATは「たつおか」となっています。この四つのキーワードを基本の柱として今年度十一年目を迎える事が出来たサッカークラブです。チームとして「Enjoy...たのしい」「Strong...つよい」「Alegría...おもい」がテーマです。今年度はコロナ禍にあり多くの活動が制限されましたが、限られた大会の中で各学年優勝から三位入賞といった成績を取

サッカークラブは子供を大人にするスポーツと言われます。毎週火・土曜日に練習を行っていますので、一緒にサッカーの楽しさを味わって頂きたいと思っています。

令和二年冬、突然勃発した新型コロナウイルス感染症により自粛を余儀なくされた世相の中で、公民館活動は足踏

「話し合いから生まれた回帰力」

「抱きしめたい平凡な生活」

「活動の振り返りと来期へ」

FC・ESATは「たつおか」となっています。この四つのキーワードを基本の柱として今年度十一年目を迎える事が出来たサッカークラブです。チームとして「Enjoy...たのしい」「Strong...つよい」「Alegría...おもい」がテーマです。今年度はコロナ禍にあり多くの活動が制限されましたが、限られた大会の中で各学年優勝から三位入賞といった成績を取

サッカークラブは子供を大人にするスポーツと言われます。毎週火・土曜日に練習を行っていますので、一緒にサッカーの楽しさを味わって頂きたいと思っています。

